



# 櫛の櫛

「学校教育目標」  
 絆を深め、地域社会に  
 貢献できる生徒の育成  
 ○自ら学ぶ ○思いやる  
 ○体を鍛える

文責 竹田 圭志

## 学校評価（保護者アンケート）の結果

9月下旬に実施した「1学期学校評価（保護者アンケート）」の結果をお知らせします。

ご多用にもかかわらず、ご協力いただきありがとうございました。また、たくさんコメントを書いていただき、改めて保護者の皆様の櫛台中学校に対する関心の高さ、期待の大きさを再確認しました。評価のやや低かった項目やご要望等は真摯に受け止め、十分に検討してまいります。その上で、無理のない範囲でお応えしていきたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

なお、このようなアンケートの有無にかかわらず、気になることなどがありましたら、お気軽にお声がけください。校長室前に「手紙（ご意見等の文書）」を投函できるポストも設置しております。そちらもぜひ、ご活用ください。

令和3年度 1学期 学校評価 【保護者アンケート結果】 (9月下旬に実施)	全学年				平均点	
	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない		
◎学校について	4点	3点	2点	1点		
1 学校だより等で教育方針を家庭にわかりやすく伝えている。	52	39	7	0	3.46	◎
2 学級・学年通信等で学校の様子がよくわかる。	39	48	11	0	3.29	
3 学校行事は充実しており、学校の様子がよくわかる。	18	45	29	5	2.78	▲
4 部活動は責任感や連帯感を育み教育的効果をあげている。	28	49	16	5	3.02	△
5 環境美化に意識が高く、学習環境が整っている。	36	59	2	1	3.33	○
6 事故防止や感染予防などの対応がしっかりしている。	44	48	5	0	3.40	◎
7 保護者の願いに応えている。	32	49	15	0	3.18	
◎教職員について						
8 わかりやすい授業を行っている。	33	54	9	0	3.25	
9 公平に分け隔てなく生徒と接している。	42	49	6	0	3.37	○
10 授業計画や評価方法などをわかりやすく伝えている。	34	51	12	0	3.23	
11 授業や通知表で、生徒の学習や生活について適切に評価している。	41	53	4	0	3.38	○
12 宿題の出し方や量は適切である。	24	51	20	3	2.98	▲
13 社会規範や身だしなみ、時間等の指導をきちんと行っている。	46	47	4	0	3.43	◎
14 教師の言葉遣いや身だしなみはしっかりしている。	46	45	6	1	3.39	○
15 生徒をよく理解し、悩みや相談に対して真剣に対応している。	36	46	14	1	3.21	
16 道徳教育を通して生徒の道徳心を育てている。	31	50	15	0	3.17	
17 生徒の間違った行動に対し、きちんと指導している。	38	47	10	0	3.29	
18 保護者への連絡をきめ細やかにしている。	43	36	14	1	3.29	
19 P T Aや地域の行事に協力的である。	47	45	5	0	3.43	◎
◎生徒について						
20 生徒たちには自ら学ぶ意識が育っている。	21	53	23	0	2.98	▲
21 生徒たちはよくあいさつをする。	44	45	9	1	3.33	○
22 生徒たちの服装や身だしなみはきちんとしている。	58	37	4	0	3.55	◎
23 生徒たちは思いやりをもって相手に接している。	37	57	2	1	3.34	○
24 生徒たちにはたくましさや活気がある。	27	53	18	1	3.07	△
25 自分の子供は学校へ行くのを楽しみにしている。	44	39	13	3	3.25	

◎・・・3.4以上、 ○・・・3.3以上～3.4未満、 △・・・3.0以上～3.1未満、 ▲・・・3.0未満

【アンケートの「意見欄」に記載されていた内容】 \*実際の記述は非常にいい表記です。

- 子供たちに寄り添った教職員の対応に感謝している。
- コロナ禍にあって、工夫した体育祭、合唱祭、文化祭などを実施してくれてありがたい。
- 担任や学年主任、養護教諭の日頃からの対応がありがたい。
- 学校日より、学級通信などで学校の様子ができることがありがたい。
- 校舎内がきれい、教師の対応も良い。
- コロナ禍にあって、学校連絡メールでの情報発信はありがたかった。
- 高校見学で帰りに「校舎一礼」をした我が子に感動した。
  - ・夏休み中、熱中症アラート発令時は部活動の活動内容に配慮がほしかった。
  - ・体育の授業中のマスクは健康面で心配。 ・子供たちの「あいさつ」に物足りなさを感じる。
  - ・授業で使用する用具が不足や状態が悪いものがある。しっかりそろえてほしい。
  - ・宿題をもっと出してほしい。家庭学習に対する子供の意欲が乏しい。
  - ・1・2学期の中間テストを実施してほしい。 ・給食の揚げ物が多いのが気になる。
  - ・人と人の心のつながりを大切にしたい指導をお願いしたい。
  - ・子供たちに対して温かみのある態度や声かけをお願いしたい。
  - ・授業の進め方で配慮をお願いしたい（板書、指導方法）。
  - ・三者面談中に、保護者と教師の面談時間を確保してもらいたい。
  - ・部活動をやめる生徒、不登校生徒が気になる。保護者として何か協力できないか。
  - ・コロナ禍のためか教職員・生徒・保護者・地域の一体感が感じられなくなっている。

## 比企地区駅伝競走大会の結果

10月25日(月)、各校の学校代表メンバが集い、嵐山町総合運動公園周辺を会場に、比企地区駅伝競走大会が開催されました。前号でもお知らせした通り、本校からの参加チームは女子チームのみでした。参加23チーム中23位という結果でしたが、自分たちの持つ力を精一杯発揮して襷をつないでくれました。

特に、2年生から唯一参加の本校代表選手は、力のある選手の集まる最長区間の1区で、第7位と強豪校を脅かす走りを見せてくれました。全選手が極度の緊張感の中でも、明るく楽しそうに参加してくれていたことが嬉しかったです。

朝夕の厳しい練習や、本番コースでの試走などもありましたが、きっと、自分自身を向上させる貴重な経験になったことでしょう。

榎台中学校を背負って闘ってくれた学校代表駅伝チーム6人の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



1区のスタート直後の様子。果敢に勝負を挑む本校生徒。



左から1区、2区、3区、4区、5区の学校代表選手たちと、選手係の学校代表6人メンバー。

## 大聖寺からオンラインで学校朝会

10月26日(火)の学校朝会は、「小川町の文化財」の第2弾として、「大聖寺の重要文化財」について実際に大聖寺から生中継で各教室に配信しました。講師に小川町教育委員会 生涯学習課の吉田 義和さんをお迎えして、国の有形重要文化財である「石像法華教供養塔（全国で最古の六面幢：ろくめんとう）」と「板碑（いたび）」について現地から解説していただきました。石板に刻まれた文字についての解説など、少し難しい内容だったかもしれませんが、昨年度、「おがわ学」の取組で「緑泥片岩」の学習に取り組んだ2年生は、改めて「小川町の自然」が「小川町の文化財」とも深いつながりがあることを知ることで、学びを深めることができたのではないのでしょうか。また、今年、「小川町の紹介マップ」を作成している1年生にとっても、おすすめの場所として大聖寺を加えてもらえると嬉しいです。



教室で生配信を真剣に視聴する生徒の皆さん。



わかりやすく解説してくださった吉田さん。今回の企画に協力してくださった住職の千明(ちぎら)さん。

吉田さん、住職の千明 和隆さんの言葉にもありましたが、小川町には素晴らしい文化財があります。ぜひ関心を持って足を運んでいただき、多くの人にその素晴らしさを伝えていってほしいです。